

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	法学概論(日本国憲法を含む)	担当者名	宮崎 秀一						
授業の概要	「憲法」とはどのような歴史を経て生まれ、どのような性質をもった法(法規範)であるかについて理解し、また、憲法が現代社会の中でどのような役割を果たしているかについて、身近な出来事やリアルタイムな政治・社会動向に即して理解を深める。また憲法学習の過程で、民法、刑法、労働基準法、道路交通法など身近な法律の重要な規定にも触れる。										
科目の到達目標	1.憲法とはどのような性格の法であり、どのような歴史的経緯を経て成立したかを理解する。 2.現代社会の中で憲法が果たす役割を、基本的人権および統治的機構に関するリアルタイムな政治的・社会的事件に即して考察する。 3.可能な限り、日常生活にかかわる基本的法令に触れる機会を提供する										
DPの観点	①判断力、⑥幅広い教養、⑦主体性、⑩論理的思考力										
授業時間外学修(予習・復習)	法に関する新聞やテレビの報道に関心を持ち、毎日少なくとも1時間程度、新聞に目を通し、ニュースを視聴する。										
フィードバックの方法	毎回、授業テーマの関連事例に対して、どの法令を適用しどのような結論を導くべきか、考えを発表させ意見交換する。										
単位認定の要件	期末レポートは、選択したテーマのユニークさ、題材とする新聞記事の質と量、考察の広さ・深さが求められる。										
評価の方法・割合(%)	期末レポート80% 授業内活動20%										
履修上の注意事項	幼稚園教諭免許状、介護福祉士資格の取得に関する必修科目である。										

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			憲法の最高法規性と立憲主義の意味	① ⑥ ⑦ ⑩	ミニッツペーパー
2			日本国憲法制定の経緯と戦後の歴史	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
3			憲法前文と9条の平和主義	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
4			国民主権と天皇制・皇室典範	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
5			幸福追求権と自己決定権	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
6			信教の自由と政権分権	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
7			人身の自由の保障と罪刑法定主義	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
8			個人の尊厳と両性の平等に立つ家族法	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
9			勤労権と労働法、生存権と社会保障法制	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
10			教育を受ける権利と学習の自由	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
11			選挙制度改革と主権者教育	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
12			議員内閣制と大統領制	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
13			国民の司法参加、刑事裁判の基礎	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
14			中央集権から地方分権へ	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
15			地方自治の本旨、地方自治法入門	① ⑥ ⑦ ⑩	同上
期末試験			(レポートの作成・提出をもって代えます)		

使用テキスト	①『目で見る憲法(第5版)』、②『ポケット六法』(2019年度版)
参考文献 参考URL	文部省『あたらしい憲法のはなし』1947年
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	-----------------------------------------------------------------

授業の自己評価	
---------	--